

# 生活環境学科 オリエンテーション

ご入学  
おめでとうございます

※このpdfは、4/6の新入生担任オリエンテーションで  
説明する予定だった内容に  
授業・履修登録日程等の変更を加えています



# ご入学おめでとうございます！

## 担 任

Aクラス 水野 優子 研究室H3-308 E-mail: [mizuno@mukogawa-u.ac.jp](mailto:mizuno@mukogawa-u.ac.jp) 0798-45-8955

Bクラス 澤渡 千枝 研究室H1-50-3 E-mail: [sawatari@mukogawa-u.ac.jp](mailto:sawatari@mukogawa-u.ac.jp) 0798-45-9767

Cクラス 北村 薫子 研究室H1-50-4 E-mail: [kitamura@mukogawa-u.ac.jp](mailto:kitamura@mukogawa-u.ac.jp) 0798-45-9917

Dクラス 黒田 智子 研究室H3-318 E-mail: [tomokokr@mukogawa-u.ac.jp](mailto:tomokokr@mukogawa-u.ac.jp) 0798-45-9837

## ※新型コロナウイルスの感染拡大による本学における対応策について

1. 大学内での相互感染によるクラスター発生の予防

3つの密（**密閉空間**、**密集**、**密接**）を避けること

2. 感染の可能性がある場合は、担任に**連絡**をし、**自宅待機**のこと

（感染者との濃厚接触、味覚嗅覚異常、風邪症状等）

3. 授業開始：**5月8日（金）**を予定 ※さらに変更になる可能性もありますので、**こまめに大学HPをチェック**してください

⇒原則**自宅待機**にてメールの指示に従い履修準備をすること

（早期の感染終息に向け、**不要不急の外出は避け**、予防に心がけること）

Stay Home!

# 学生証とネットワークIDについて

- ・ **学生証 (M.I.C.)** : 名前と写真を確認して下さい。

学生証 (M.I.C.)は、授業出欠管理や建物の入館等に必要です。

いつも携帯してください。

⇒在学確認票：学生証の裏面に貼ってください。

- ・ **キャンパスネットワークのID・パスワードの封筒**

このID・パスワードは、武庫川女子大学教育支援システムMUSESを利用するために必要です。

大切に管理し、他人に使用されないよう注意してください。

# 本学のネットシステムについて

本学には2つのネットシステムがあります！

## 1. MUSESシステム（MUSES利用案内参照）

履修登録や成績確認をはじめ就職活動など、大学における  
様々な手続きや自分の情報確認を行うためのシステム

## 2. mwu.jpシステム（Start up manual参照）

大学からの連絡や課題等をパソコンやスマホで受け取れる。  
容量無制限のクラウドのドライブを利用できる。

遠隔授業の基盤となるシステム

# 自分のネット環境をつくろう！

## 1. キャンパスネットワークの設定を行ってください

([オリエンテーションのしおりp.19](#) キャンパスネットワーク説明会 参照)

※クリーム色の封筒の中にはいっている

『(MWU-net)利用アカウント発行書』等の配布についてを熟読してください

### <注意事項>

1. 学外からログインするには、ワンタイムパスワードが必要です。
2. 初めてログインする際は、事前に設定されているmukogawa-u.ac.jpとワンタイムパスワードの「**仮パスワード**」を使ってください。
3. 仮パスワードの有効期限は4/30（木）までです。早急に**新しいパスワードに変更**してください！

# 自分のネット環境をつくろう！

2. スマホで [mwu.jp/first](http://mwu.jp/first) にアクセスしてください（検索でも良い）  
自宅等で動画を見て、スマホの設定をしてください。  
（パソコンが無くてもスマホだけでできますよ！）

設定できたら課題のテストを受けて下さい。

満点が取れたらスクリーンショットで保存して  
担任のメールに送ってください！



困ったときはICTヘルプデスクへ！

TEL : 0798-45-9919

E-Mail : [help@mwu.jp](mailto:help@mwu.jp)

URL : <http://ict.mukogawa-u.ac.jp/>



MWU.jp/firstへのアクセス

# 授業の履修について

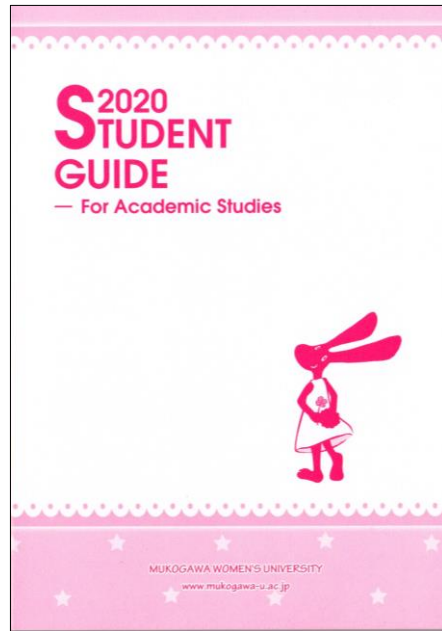
教務関連のおしらせです



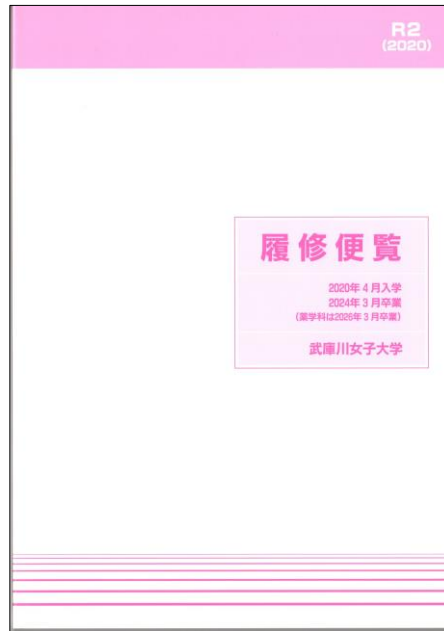
# 大学で学ぶために必要な情報

大学のHPでも見ることができます

変更が生じることがあるので、毎年、大学HPに掲載される履修便覧を確認すること！



Student Guide2020 For Academic Studies



履修便覧

## 過年度シラバス

大学

- 共通教育科目
- 基礎教育科目・専門教育科目

文学部	日本語日文学科 英語文化学科 教育学科 心理・社会福祉学科
教育学部	教育学科
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科
生活環境学部	生活環境学科 食物栄養学科 情報メディア学科 建築学科
食物栄養科学部	食物栄養学科 食創造科学科
建築学部	建築学科 景観建築学科
音楽学部	演奏学科 応用音楽学科
美術部	美術科(1年制) 健康生命科学科(4年制)
看護学部	看護学科
経営学部	経営学科

- 資格課程科目

短期大学部

- 共通教育科目
- 基礎教育科目・専門教育科目

日本語文化学科
英語生協・コミュニケーション学科
幼児教育学科
心理・人間関係学科
健康・スポーツ学科
食生活学科
生活造形学科 アパレルコース インテリアコース

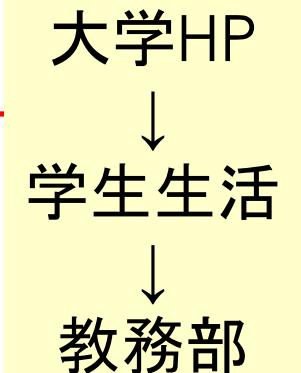
- 資格課程科目

シラバス

[https://www.mukogawa-u.ac.jp/~kyoumuka/syllabus/2020/syl\\_2020.htm](https://www.mukogawa-u.ac.jp/~kyoumuka/syllabus/2020/syl_2020.htm)

時間割  
シラバス

MUSES→ログイン

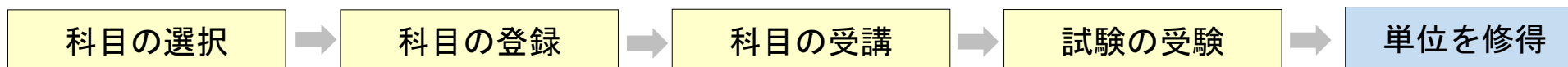




## 1. 履修登録

ポイント：卒業と資格取得のために必要な科目を登録して自分の時間割を作成

### 1) 履修とは？ (Student Guide 2020 p.31)



### 2) 卒業に必要な単位数と科目区分 (履修便覧 p.99)

卒業単位数	科目区分	単位数	特記事項
124単位以上	共通教育科目	14単位以上	1 共通教育科目は、『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」、「社会科学科目」及び『ジェンダー科目群』から合計4単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」から合計2単位以上を修得すること。 2 下に掲げる表の外国語科目から合計8単位以上を含めて修得すること。
	基礎教育科目	4単位以上	
	専門教育科目	80単位以上	

#### 共通教育科目

⇒学科を横断して開講される科目

#### 基礎・専門教育科目

⇒学科特有の科目

### 3) 標準時間割とは？ (Student Guide 2020 p.28)

学科・学年・クラスごとに作成された時間割⇒授業時間割表 参照

#### <注意点>

- 同じ科目が複数クラスに開講されている場合異なるクラスを履修することはできません。

# 履修登録について

## 1. 履修登録 ※注 Student Guide 2020に記載されている日程から変更されました！

### 4) 履修日程 New! 登録期間

**4/22 (水) pm.1時まで**に共通教育科目の登録を行ってください。同日pm.1時~3時にサーバー上で抽選が実施されますので、3時以降に**抽選結果を必ず確認**してください。その後、定員に空きがある科目は**先着順で登録**を受け付けます。

**4/23 (木) pm.5時まで**に必ず登録作業と登録確認を行い、「**履修登録確認ボタン**」をクリックのこと！「未確認」と表示されたままの場合、履修が認められなくなる場合があります。

**5/7 (木) ~5/15 (金) pm.1時まで**は登録修正期間です。科目によってはWebで修正できない科目があります。その場合は、教務課に申し出てください

	共通教育科目	基礎教育・専門教育・資格課程科目 (夏季集中講義科目含む)
4月1日(水)	時間割参照 (MUSES<時間割参照メニュー>) <small>注2</small>	
4月15日(水)	履修登録抽選申込開始 (午後1時)	履修登録開始 (午後1時)
	↓	↓
	履修登録抽選申込終了 (午後1時)	履修登録中断 (午後1時)
4月22日(水)	午後1時~午後3時 共通教育科目抽選中のため登録できません。	
	履修登録許可科目発表 (午後3時) <small>注3</small> 定員残科目先着順登録及び登録取消開始 (午後3時)	履修登録再開 (午後3時)
	↓	↓
	先着順登録及び取消終了 (午後5時)	履修登録終了 (午後5時)
	履修に関して不明な点があれば、1年生はまずは履修登録期間内に担任までメールにて相談してください。履修登録期間終了後も引き続き相談を受け付けています。	
4月23日(木)	履修確定科目一覧 Web 確認・印刷可能 (午後5時)	
	登録終了後は必ず、「履修確定科目一覧」を確認し、印刷してください。(MUSES<履修メニュー~履修登録・確認~標準時間割科目・資格科目・その他 履修登録確認ボタン>で確認し、この画面にある<履修確定科目一覧表示ボタン>を押す)	
	MUSES<履修メニュー~履修登録・確認画面>又は、「履修確定科目一覧」で必ず登録内容を確認してください。登録内容に不備・誤りがある場合は、修正期間内に修正してください。	

締切日にはアクセスが集中しますので、**余裕をもって**手続きしてください！

### 修正期間

	共通教育科目	基礎教育・専門教育・資格課程科目 (夏季集中講義科目含む)
5月7日(木)	相談窓口 (午後0時30分) ~ (午後5時) 場所 東館地下1階学生部横会議室 <small>注4</small> 対象 ・卒業学年の学生 (新薬については3年以上) ・資格取得のために共通教育科目の履修が必要な学生	
5月7日(木)	登録漏れ・登録ミス科目等の修正開始 <small>注5</small> (午前9時)	
	↓	
5月15日(金)	登録漏れ・登録ミス科目等の修正終了 (午後1時)	

相談窓口の対象者に注意のこと！資格取得のために共通教育科目が必要な人以外は、1年生は対象外です！

これ以降、一切の登録・修正ができません！

## 1. 履修登録

### 5) 共通教育科目の履修登録方法

ポイント：卒業要件を満たすよう自分で計画し、希望科目をMUSESで申し込む。

履修登録に関しては、共通教育履修ガイドをよく読んでください！

卒業単位数	科目区分	単位数	特記事項
124単位以上	共通教育科目	14単位以上	1 共通教育科目は、「基礎教養科目群」の中の「人文科学科目」、「社会科学科目」、「ジェンダー科目群」及び「大学・初年次ゼミ」の中の「学び発見ゼミ」から合計4単位以上、「基礎教養科目群」の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」から合計2単位以上を修得すること。 2 下に掲げる表の外国語科目から合計8単位以上を含めて修得すること。
	基礎教育科目	4単位以上	
	専門教育科目	80単位以上	

←注意！！  
共通教育履修ガイドブック p.10をチェック！



### <注意点>

- 履修は抽選になります。  
登録締切（4/22水 13:00）までに登録してください。
- 4/22水 15:00～抽選結果を必ず確認してください。
- 抽選後、定員に空きがある科目は、4/22水 15:00～4/23木 17:00に先着順で履修受け入れとなります。

## 1. 履修登録

### 6) 基礎教育科目と専門教育科目の履修登録方法

Step1. **履修便覧**で1年前期で開講されている科目を確認。

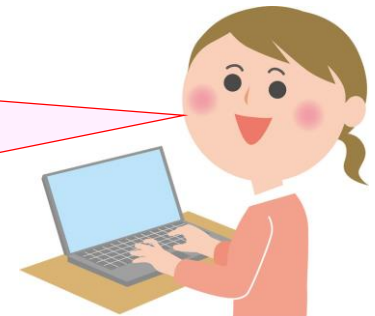
Step2. 科目の**シラバス**を見て科目内容等を確認し、履修する科目を決める。

Step3. **授業時間割表**の標準時間割を見て自分の**時間割**を作成する。

Step4. **MUSESで履修登録する。**

※Web履修登録説明会が中止となりましたので、登録操作は「**Web履修登録操作マニュアル**」または、mwu.jpに公開される**Web履修登録操作マニュアル**（動画）  
を見てください！

履修登録や確認作業は、**必ずパソコン**で！  
スマートフォン、タブレットでは、正常に反映されない場合があります。





## 1. 履修登録

### 6) 基礎教育科目と専門教育科目の履修登録方法

#### <注意点>

- ① 必修科目は、既に履修登録されています。取り消すことはできません。
- ② 資格取得に必要な科目、単位数を確認すること！（履修便覧 p.109~113）
- ③ 専門教育科目には、後期以降の科目の履修条件となっている科目がいくつかあります。詳しくは、履修便覧の「注」の箇所を参照。
- ④ 自分のクラスの標準時間割に従ってください。他のクラスの時限を履修することは、できません。
- ⑤ 1学期に履修登録できる単位数に上限があります⇒**キャップ制**（履修便覧 p.99~100）  
⇒大環は1学期間 **25単位** ※前期25単位 & 後期25単位  
※但し、キャップ制対象外科目や成績優秀者への上限緩和もあるので、履修便覧を熟読のこと！
- ⑥ **履修登録期間**と**修正期間**に注意！期限を過ぎると、一切の変更・取り消しができません。
- ⑦ 登録した科目が「出席日数が満たない」等で**受験不可（不合格）**になると**成績に大きく影響**します。

# 時間割を作成してみた ※下記は一例です！

Step1. 履修便覧 p.104~107 で、1年前期で開講されている科目を確認。

◆ 専門教育科目

科目番号	科目名称	単位数	形態	必修	資格	第1年次			第2年次			第3年次			第4年次			備考
						前期	後期	特別学期	前期	後期	特別学期	前期	後期	特別学期	前期	後期	特別学期	
1110	生活環境論	2				○												
1120	基礎造形実習	2	実			◎												
1130	生活科学	2				○												
1140	ファッションビジネス論	2			(中高家)	○												
1150	アパレル構成学	2			(中高家)	○												
1160	住居学	2			(中高家)	○												
1170	建築概論	2			(中高家)	○												
1180	基礎・設計製図演習	2				◎												注1
1190	生活科学演習	2					○											注2
1200	服飾デザイン論	2			(中高家)		○											
1210	アパレル構成学実習I	2	実		(中高家)		◎											注3
1220	インテリアデザイン論	2			(中高家)		○											
1230	グラフィックデザイン基礎実習	2	実				◎											
1240	環境共生概論	2					○											

住環境やインテリアに興味がある

ん！なんか注意しなきゃいけないことありそう



# 時間割を作成してみた ※下記は一例です！

## 注意！ 履修便覧の注釈を確認しよう！

限定：コース生のみ受講できる科目である（履修年次はメインコースとサブコースにより異なる）。Web履修登録ができないため、再履修・聴講の場合は、履修登録期間内に教務部で手続きすること。

カリキュラム改正等の事情により開講されない場合がある。また、時間割の都合により受講できない場合がある。

受講できる学年は所属コースによって異なる場合がある。所属コースによっては受講できない科目がある。

注1：この科目は、建築設計基礎実習の受講の条件になっているので注意すること。

注2：この科目は、界面科学実験、染色加工学実験及び繊維科学実験の受講の条件になっているので注意すること。

注3：この科目は、アパレル生産実習Aの受講の条件になっているので注意すること。

注4：この科目の履修は、基礎・設計製図演習を受講したか、それと同等の能力がある者に限る。

注5：この科目では、文献・図像資料のディスカッションを通じて、デザインに関する知識と分析力を強化する。  
I～III全部を履修することが望ましいが、順序は自由である。

注6：この科目の履修は、生活科学演習を受講したか、それと同等の実験能力がある者に限る。

注7：この科目の履修は、アパレル構成学実習I・IIを受講したか、それと同等の能力がある者に限る。

注8：この科目の履修は、ドラフティングCAD実習Iを受講したか、それと同等の能力がある者に限る。

注9：この科目の履修は、ドラフティングCAD実習I・II・ドレーピング実習を受講したか、それと同等の能力がある者に限る。

注10：この科目は、生活デザイン実習II～IVの受講の条件になっているので注意すること。

注11：この科目の履修は、生活デザイン実習Iを受講したか、それと同等の能力がある者に限る。

注12：この科目の履修は、建築設計基礎実習を受講したか、それと同等の能力がある者に限る。

注13：この科目の履修は、住宅設計を受講したか、それと同等の能力がある者に限る。

注14：この科目は、構造力学IIの受講の条件になっているので注意すること。

注15：この科目の履修は、構造力学Iを受講した者に限る。

注16：この科目は、履修するまでに62単位以上を修得し、かつ原則として卒業基礎演習を修得した者に限る。

これら以外にも、事前に受講しておくことが望ましい科目があるので、担任の指導やシラバスの記載に留意すること。

実験・実習・演習科目の中には、履修順位を指定している科目があります

なるほど！基礎・設計製図演習は他の設計実習の基礎になっているのね！



# 時間割を作成してみた ※下記は一例です！

Step2. **MUSES**で科目の**シラバス**を見て、  
科目内容等を確認。

図面の書き方を学ぶのね。  
模型もつくるんだ...

基礎・設計製図演習（2単位）		山田 由美・伊丹 康二・大高 和香
科目目的	建築、空間設計において、設計図面はデザイン意図を他者に伝えるための重要な手段であり、さらには優れた建築・空間を理解するには、図面を読み取る能力が必要である。この科目では、設計製図における基礎知識と表現技術を学び、図学、製図法、空間の各部位、構造、スケールについての理解を深めることを目的としている。	
到達目標	次学期以降の設計実習に必要な基本的な製図知識と技術を習得し、各自が考案した小空間を設計図面（平面、断面、立面図）、透視図、模型で表現できる。	
授業内容	最初は製図用具の使い方、線の引き方、図学、図面表現、立体表現などの基礎的な作図技術を学ぶ。次に小住宅の平面図、断面図、立面図の模写と模型制作、透視図の製図を通して、2次元である図面と3次元空間の相互理解を促す。最後に模写した小住宅の内部空間をデザインし、図面、模型、透視図で表現する。	
授業計画	<p>第1回：ガイダンスと基礎演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製図道具の使い方について</li> <li>・図面の必要性、各図面の役割の解説</li> <li>・線の練習・図形の練習</li> </ul> <p>第2回：図形表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直線、斜線、円弧、図形、製図文字の練習</li> </ul> <p>第3回：立体の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正投影図と等角投影図</li> </ul> <p>&lt;小住宅の模写&gt;</p> <p>第4回：平面図の作成－1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図、配置図の解説</li> <li>・縮尺、線の種類、平面図の書き方の指導</li> </ul> <p>第5回：平面図の作成－2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上階平面図の描き方の指導</li> </ul> <p>第6回：断面図、立面図の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・断面図の解説と描き方の指導</li> <li>・立面図の解説と描き方の指導</li> </ul> <p>第7回：立体表現－1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模型材料、模型表現の解説と制作法の指導</li> </ul> <p>第8回：立体表現－2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模型における表現についての指導</li> </ul> <p>第9回：立体表現－3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・透視図の作図法についての解説</li> <li>・透視図の表現についての指導</li> </ul> <p>第10回：立体表現－4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイソメトリック図の解説と作図法についての解説</li> </ul> <p>&lt;小空間の設計&gt;</p> <p>第11回：デザインワーク1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる空間の大きさを確認</li> <li>・空間の核となる椅子のデザイン特性を分析</li> <li>・椅子の実測</li> </ul> <p>第12回：デザインワーク2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・椅子の三面図の作成</li> </ul> <p>第13回：デザインワーク3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空間コンセプトを立案</li> </ul> <p>第14回：デザインワーク4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケッチを用いた空間造形の指導</li> </ul> <p>第15回：コンセプト表現、図面（平面、断面、透視図）と模型の表現方法についての指導</p> <p>*上記の予定を原則とするが、授業の経過によっては変更することもある。 *必要に応じて見学会を実施する場合がある。</p>	
授業方法	作図、製図、模型制作、小空間の設計など、複数の課題を課する。	



# 時間割を作成してみた ※下記は一例です！

Step3. 時間割冊子の標準時間割を見て、必要な専門教育科目を各自で選択し、自分の時間割を作成する。

例：あと8単位履修できる！共通教育科目を4科目申し込もう！

単位数の計算  
 初期演習 I ⇒ 1  
 情報リテラシー ⇒ 2  
 Oral Communication ⇒ 2  
 専門教育科目  
 ⇒ 2単位 × 6科目 = 12  
 小計 17

曜日	時限	時間割コード	開講科目名	必修	担当者名	共同担当	教室	授業詳細	開講クラス名	A	B	C	D
月	2	80001	日本国憲法		米澤 広一		S-57	資格	大環 IABCD	○	○	○	○
	4	80007	教職入門		大倉 健太郎		SE-210	資格	大環 IABCD	○	○	○	○
火	1	40020	生活環境論		三宅 正弘		S-47		大環 IABCD	○	●	○	○
	2	40029	建築概論		岩田 章吾		S-47		大環 IABCD	○	●	○	○
	3	40025	生活科学		澤渡 千枝 古濱 裕樹	主副	S-57		大環 IABCD	○	●	○	○
	4	40028	住居学		佐々 尚美		S-35		大環 IABCD	○	●	○	○
水	1	40000	初期演習 I	必	水野 優子		S-47		大環 IA	○	○	○	○
		40001	初期演習 I	必	澤渡 千枝		L2-53		大環 IB	○	○	○	○
		40002	初期演習 I	必	北村 薫子		S-23		大環 IC	○	○	○	○
		40003	初期演習 I	必	黒田 智子		S-31		大環 ID	○	○	○	○
	2	40008	情報リテラシー	必	井上 雅人		MM-302		大環 IA	○	○	○	○
		40009	情報リテラシー	必	岸川 洋紀		MM-501		大環 IB	○	○	○	○
		40010	情報リテラシー	必	水野 優子		MM-304		大環 IC	○	○	○	○
		40011	情報リテラシー	必	古濱 裕樹		MM-303		大環 ID	○	○	○	○
3	40012~40019	Oral Communication		堀江(外部英語講師UL)		C-702(M) C-703(W) C-802(U) C-806(E) L1-501(N) MM-501(G) S-42(L)	★	大環 IABCD	○	○	○	○	
	4	40027	アパレル構成学		中尾 時枝		L2-23		大環 IABCD	○	○	○	○
木	1	40061	家庭生活論		高尾 真子		S-45		大環 IABCD	○	○	○	○
	2	40026	ファッションビジネス論		坂口 建二郎		S-45		大環 IABCD	○	○	○	○
3~4	40024	基礎造形実習		吉本 光繪		H3-102		大環 ID	○	○	○	○	
金	1~2	40030	基礎・設計製図演習		大高 和香		H3-102		大環 IA	○	○	○	○
		40022	基礎造形実習		杉本 雅子		H1-33		大環 IB	○	○	○	○
		40032	基礎・設計製図演習		伊丹 康二		H3-206		大環 IC	○	○	○	○
	3	40012~40019	Oral Communication		堀江(外部英語講師UL)		L1-201(M) L2-33(W) L2-34(U) L2-35(E) MM-501(N) MM-608(G) S-31(L)	★	大環 IABCD	○	○	○	○
	4~5	40023	基礎造形実習		泊里 涼子		H1-33		大環 IA	○	○	○	○
	40033	基礎・設計製図演習		伊丹 康二		H3-206		大環 ID	○	○	○	○	
土	1~2	40031	基礎・設計製図演習		山田 由美		■H3-102 H3-B101		大環 IB	○	○	○	○
		40021	基礎造形実習		黒田 智子		■H1-33 H3-B101		大環 IC	○	○	○	○

共通教育が入る時限⇒

共通教育が入る時限⇒

共通教育が入る時限⇒

選択科目

必修科目

一年生に開講されている科目は、学科の教育の基礎となる科目です。できるだけ履修しましょう！

# 時間割を作成してみた ※下記は一例です！

Step4. **MUSESで履修登録する。** ※操作については「Web履修登録操作マニュアル」参照

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限	「徒然草」から学ぶ生き方	Oral Communication	初期演習I		基礎造形実習	基礎・設計製図演習
2限	色彩情報(1)		情報リテラシー		基礎造形実習	基礎・設計製図演習
3限	神話・伝説の世界から(1)	住居学	基礎教育科目		Oral Communication	専門科目
4限	共通教育科目	建築概論		基礎教育科目		
5限		生活環境論			アパレル構成学	
6限		専門科目			専門科目	
7限						

集中講義・学外実習・その他別登録科目

時間割コード	曜時	科目名	担当者名	教室名	受講クラス
登録されていません					

★★ 時間割を印刷する場合は、「印刷用画面表示」で印刷用画面を表示し、ブラウザの「印刷」ボタンで印刷実行してください ★★

キャップ制25単位の範囲で  
 基礎教育科目  
 専門科目  
 共通教育  
 を計画的に履修しよう！

◆履修確定科目一覧

## 2. 外国語科目について (履修便覧 p.99)

**卒業までに8単位以上必要です。**

外国語科目に関する卒業要件

卒業単位数	科目区分	科目名	単位数	備考
8 単位以上	共通教育科目	言語・情報科目群 (言語リテラシー科目)	科目による	選択
	基礎教育科目	Oral Communication	2	選択
		生活環境英語	2	選択
		TOEIC認定英語 I ~IV	各2	単位認定
	専門教育科目	海外語学研修	3	選択
		海外の生活環境研修 I	1	選択

## 3. 授業開始 : 5月8日 (金) ※共通教育科目は5月11日 (月) から

- 変更が生じた場合は、大学HPやMUSESで連絡します。
- 教科書や実習などで使うものなどを準備しておいてください。
- 教科書の購入は「オリエンテーションのしおり p.11,12」参照。

※または右のURL参照⇒ <https://mukogawa-univ.jp/jigyoubu/kyoukasho/>

## 4. 授業の出欠について (オリエンテーションのしおり p.9)

- 1回目の授業から出席確認がある
- 出席確認の方法：点呼 or 署名 or M.I.Cカード ※科目により異なります。
- M.I.Cカードを他人に貸すのはNG！
- 特に理由がない場合、原則として欠席は認められません。  
公欠については、Student Guide 2020 p.57~参照
- 既定の欠席回数を超えると受験資格が不可となり試験や成績評価が受けられません。つまり、単位が取れない！  
※受験資格は、Student Guide 2020 p.68 参照

ピグマ  
M.I.Cカード  
をかざすと  
ピッと音が  
なります



## 5. その他

履修登録時にエラーとなる例

例：共通教育科目8単位+基礎・専門科目18単位を登録しようとする...  
計26単位>25 なのでエラーがでます。

基礎・専門教育科目を優先させなければならない場合、共通教育科目を1~2単位分  
取り消しを行ったうえで、基礎・専門教育科目を再登録しなおしてください。

## 6. Q&A

よくある質問

教務関係は  
以上です

Q1. 1回目の授業までに履修登録を行っていないと、出席してはいけないのですか？

A1. 出席することは可能です。ただし。履修登録の修正期間までに履修登録を行わなければ出席した分は無効となります。

Q2. キャップ制の履修登録上限単位を超えて履修できてしまいました。

A2. キャップ制除外科目（資格過程科目 他）や通年科目の有無を確認してください。詳しくは履修便覧p.99,100参照。

Q3. シラバスを見ると、私の行きたいコースとは関係ないような科目なのですが、それらも履修しなければなりませんか？

A3. 一年生で開講されている科目は、生活環境学科の教育のベースとなる科目です。また、6つコースの特性を知るうえでも役立ちます。したがって、できるだけ履修することを推奨しますが、最終的には各自で判断してください。

# 教職課程について

教職課程についてのお知らせです

履修便覧 P.225-268



## 免許の種類（生活環境学科）

- 中学校教諭一種免許状（家庭）
- 高等学校教諭一種免許状（家庭）

履修便覧 p.227

### 《他校種・他教科科目の履修》

教職課程を履修した場合、聴講制度によって自学科開講以外の校種・教科の免許取得に必要な科目も履修できる

説明会：12月（予定）

説明会に関する掲示：11月下旬（予定）

※興味のある学生は掲示をよく確認すること

# 課程履修

各説明会等に出席し、定められた手続きをしなければ、課程履修・免許取得ができない（掲示をよく確認すること）

## 課程履修するための流れ

オリエンテーションのしおり p.13

- ① 課程履修説明会に出席
- ② 課程履修申し込み手続き

（要課程履修費：STUDENT GUIDE For Academic Studies p.128）



# 1年生前期の科目履修

手続きを行った学生のみが、1年生後期より教職課程を履修することになるが、**1年生前期にも開講科目があるため、履修・修得のこと**

オリエンテーションのしおり p.13

- 教職基礎科目、教育の基礎的理解に関する科目等

履修便覧 p.228-231

- 教科及び教科の指導法に関する科目

履修便覧 p.238

履修モデル表（履修便覧 p.254）を見ると4年間の履修スケジュールが分かります

→この表内で「**第1年次 前期**」**必**と記載のある科目及び「**日本国憲法**」を今期に履修登録すること

# 教科及び教科の指導法に関する科目

履修便覧 p.254

- ・ ○印の科目は必ず履修・修得すること
- ・ ○印のついていない科目は**選択必須**科目であり、単位数が満たされるように（専門性等を考慮しながら）各自で選択して履修科目を決定する

# 教育実習を履修するための最低修得単位数

履修便覧 p.231-232

- ・教育実習（本学科では4年生の前期が主）に行くまでに所定の単位を修得し、要件を満たしていること
- 教育実習に行けない場合、卒業と同時に免許を取得することができない

# 学生部からの連絡

学生部からの連絡は  
オリエンテーションのしおり  
p.14~18  
を熟読しておいてください

奨学金に関しては下記URLをクリック！

[HTTPS://WWW.MUKOGAWA-U.AC.JP/~JOUHOU-C/SYUGAKU/](https://www.mukogawa-u.ac.jp/~jouhou-c/syugaku/)



# 学科内のサポート体制

相談がある場合は、オフィスアワーやメールを使い、下記の教員に問い合わせてください。

連絡先：Student Guide 2020 For Academic Studies p.246,247

※メールアドレス、研究室部屋名、研究室電話番号が記載されています。

1. 基礎・専門教育科目について⇒ 各クラスの担任

※内容によっては、教務委員（山田由美）から回答する場合があります。

2. 共通教育科目について⇒ 共通教育委員：古濱 裕樹

3. 学生生活について⇒学生委員：池田 仁美

4. 資格について

・教職⇒末弘 由佳理

・衣料管理士（TA）、繊維製品品質管理士（TES）⇒竹本 由美子 他

・建築士⇒鎌田 誠史

・インテリアプランナー⇒北村 薫子

・商業施設士補⇒水野 優子

5. その他

※ Student Guide 2020 p.246,247に相談内容と相談先のリストあり

## メールで問い合わせる場合の注意点

教員からの返信は、下記のドメインのアドレスから配信されます。教員からの返信メールが受信できるよう、受信設定を変更しておいてください。

[mwu.jp](mailto:mwu.jp)

[mukogawa-u.ac.jp](mailto:mukogawa-u.ac.jp)

なお、メール送信後に2~3日経っても返信がない場合は、電話してください！



# 実習に必要な用具のご案内

履修科目によって、次の用具が必要になります。

基礎・設計製図演習を受講する場合

⇒【1】～【4】の用具を用意してください。

下記用具は事業課売店（MM館向い第1体育課館1階本屋奥）にて販売していますが、必ずしも事業部で購入する必要はありません。同等品を揃えてください。その他の科目では特に必要な物はありませんが、基礎造形の授業の後半で水彩画の用具が必要になる場合があります。

※右記、売店販売価格は全て税込となっています。

※履修を迷っている学生には、1回目の授業では用具をお貸しできますが、数に限りがあります。貸し出しを希望する人全員に行きわたらない場合があります。予めご了承ください。

※大学入学前にすでに上記と同等の用品を持っておりその用品を使用したい場合は、授業担当の教員に確認するようにしてください。

（授業課題に対応できる用品か否かの確認の為）

【1】 製図器用品セット(特組) ..... ¥7,200

～内訳～

- ① 大コンパスセット(シャープ0.5mm)
- ② オルファ 細工カッター30°
- ③ ステッドラー マルス芯ホルダー 2mm
- ④ ステッドラー シャープペンシル 0.5mm
- ⑤ テンプレート インクエッジ付 0.8～36mm
- ⑥ コンパス用 シャープ芯
- ⑦ マルス ホルダー用芯2B
- ⑧ 中心器(ゴム底)
- ⑨ ステンレ字消し板



【2】 ウチダ勾配定規(22cm) ..... ¥2,815

【3】 三角スケール30cm(アクリルケース入) ..... ¥1,885

【4】 カッティング用直定規30cm ..... ¥930

# 今後について

新型コロナウイルスの**予防**に心がけて下さい。

若年者の感染が増加しており、死亡例も増えています。

**不要不急の外出**は避けて下さい。

**3つの密**を避けて下さい。

今後、状況により講義日程等に**変更が出る可能性**があります。

⇒**春休みではありません！**

今日の資料を十分に確認して下さい。

**ネット環境**を作ってください⇒遠隔授業等を開始する予定です。

**mwu.jpメール**で、連絡指示があります！

MUSESの掲示を確認したうえで、各クラスの初期演習Ⅰのクラスルームへの参加にトライしてみてください。**近日中に教員紹介の動画を公開**します！



Stay Home!